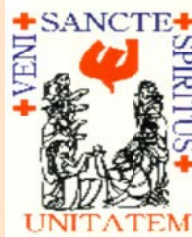


2018年9月2日 (第186号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



# カトリック高松教区報

「サマー・テラ」の言葉
苦しみに出会った時
には、ほほえましく
もって受け取り
ましょう。これこそ
神さまの最大の恵み
つみの、神様が私
ちにお与えになるこ
と、わたしは大切に
求めたいのです。す
べてを、ほほえましく
もって受け取りたい
う。この言葉です。

## 「召命に資する」諸活動を支援

### 教区「一粒会規約」の一部改正

高松教区司教 諏訪榮治郎

諏訪榮治郎

ここ数年の激しい気候変動により、いかに安全に日常生活を営むか、という意識を超えた豪雨による悲しい出来事に見舞われてしまいました。いつまた起こるかもしれないという不安の中、互いの信頼と支え合いが人としていかに大切かを心に刻んでまいりたいと思います。

さてこの度、一粒会委員会では諸事情により「一粒会規約」の一部を改正する運びとなりました(2018年7月)。規約改正を皆様様に周知していただきたく、以下説明を申し上げます。

① 一粒会規約にこの度の追加事項(太字)を掲載いたします。

第2条 本会の目的は、次にあげる司祭、助祭、修道者召命と神学生養成に寄与することを目的とする。
(1) 高松教区神学生養成におよびそれに伴う諸経費の援助。
(2) 日本カトリック神学院への分担金支出

② 世界のカトリック神学院の養成方針が統一されつつあります。神学院での(哲学・神学)修業期間は7年となり、「初期養成」と呼ばれます。神学院卒業後、教区で「助祭」となり司牧に携わり「司祭叙階」を受ける予定です。

③ 世界のカトリック神学院の養成方針が統一されつつあります。神学院での(哲学・神学)修業期間は7年となり、「初期養成」と呼ばれます。神学院卒業後、教区で「助祭」となり司牧に携わり「司祭叙階」を受ける予定です。

④ 高松教区に於いて司祭叙階後、天に召されるまで「生涯養成」期間が続きます。神学院を卒業する「養成」は終わるのでなく、「良き牧者」としての生涯養成を受け続けるという理念です。

「イエスが山に登って、これと想う人々を呼び寄せられると、彼らはそばに集まってきた。そこで、十二人を任命

日ごとの糧・共同司式ミサで始まる黙想会



### 「主と共にいる」を考え黙想

高松・広島教区の司祭たち

し、使徒と名付けられ、彼らを自分のそばに置くため。」(マルコ3:13-14)

短い時間でしっかりと黙想をしようか。じっくりと黙想をしようか。

信じて聖職者もなく、私たちがすべてのキリスト者は、そもそも、主と共にあるように呼びかけられています。この事、聖書学者でもあり教師でもある大分教区の山下神父様が、福音書から取り上げられた言葉でした。

教会の慣習、そして司祭、そして助祭に対して、年に一度の黙想期間を推奨しています。もちろん、この年に一度の黙想が、日常の祈りに置き換えられると、いつの間にはありませぬが、主と共にあるために、日常のリズムや務めから少し離れてみるという意味をもっています。

私たちがイエスの力から23日まで、この黙想の家で6月の19日から23日まで、この機会を持ちました。高松教区からは、諏訪司教と7人の司祭と助祭、広島教区からは、白浜司教と21人の司祭と助祭が参加しました。高松教区と広島教区、毎日2つの講話がこの

7月1日(日)午前11時から、江ノ口教会で諏訪司教様をお迎えし、2018年度高松教区殉教者祭・高知地区が開催されました。

教区殉教者祭として四国を巡回するようになったから、一昨年の小豆島、昨年の松山を引き継いでの開催となり、当日は、梅雨の曇り空の下、蒸し暑い日でしたが、香川からバスで30人余りの参加者もあり、総勢約100人の参加となりました。

まず冒頭に、30日にユネスコの世界遺産に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界文化遺産に登録することになったことに触れ、上陸し、吾川郡横畠村を経て香美郡赤岡村の赤岡牢舎

高知での流配者の状況説明を聴く参加者
その後、はまゆう会館で、おそらめんやおにぎりを作ったきながら、皆さんと交流を図ることができました。最後になりましたが、教会の周りの草刈り、会場の掃除や設営、おそらめんやおにぎり作り等、準備のためにお手伝いいただいた皆さんを、感謝いたします。お自分自身をありのままに受け入れてもらえず、無視されて傷ついている人はいないでしょうか。イエスは「わたしがあなたたちを愛したように、互いに愛し合いなさい。」(ヨハネ15:12)と言われました。当時、イエスと出会った人々は、誰よりも深く自分の存在をありのままに受けとめ、ともに生きてくださるお方を体験したのだと思います。

あるテレビ番組で二年後のオリンピックに向けてどのような日本でありたいかとの司会者の問いに、ゲストが「やさしい日本、人と人の輪が広がる日本」と答えていました。オリンピックには世界中から大勢の人々が集まってきます。彼らに日本人がやさしく接し、人と人の温かいつながりが輪となって広がっていくようにとの思いではないでしょうか。教会もそうであって欲しいと思います。私たちの教会は「やさしい教会、人と人の輪が広がる教会」になっているでしょうか。

「主日は合同ミサ 桜町・番町教会
教会と桜町教会は、祝日ミサや聖週間の典を合同で執り行ってきた。今夏、特に8月9日に亘っては、主日ミサは合同で捧げられることを申し合いました。
主な理由は、高松教区の現役司祭の減少が次第に顕著に表れて来ており、この問題への対策として、地区・小教区を超えた協力司牧が不可欠になって来ています。
皆様方のご理解と協力を宜しく願います。

あるテレビ番組で二年後のオリンピックに向けてどのような日本でありたいかとの司会者の問いに、ゲストが「やさしい日本、人と人の輪が広がる日本」と答えていました。オリンピックには世界中から大勢の人々が集まってきます。彼らに日本人がやさしく接し、人と人の温かいつながりが輪となって広がっていくようにとの思いではないでしょうか。教会もそうであって欲しいと思います。私たちの教会は「やさしい教会、人と人の輪が広がる教会」になっているでしょうか。

あるテレビ番組で二年後のオリンピックに向けてどのような日本でありたいかとの司会者の問いに、ゲストが「やさしい日本、人と人の輪が広がる日本」と答えていました。オリンピックには世界中から大勢の人々が集まってきます。彼らに日本人がやさしく接し、人と人の温かいつながりが輪となって広がっていくようにとの思いではないでしょうか。教会もそうであって欲しいと思います。私たちの教会は「やさしい教会、人と人の輪が広がる教会」になっているでしょうか。



## 2017年度宗教学法人「カトリック高松司教区」会計 資金収支計算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

支出の部	科目	教区本部合計	小教区合計	総合計
経常支出の部				
祭儀費		892,795		892,795
諸委員会活動費		2,549,055		2,549,055
生涯養成委員会		0		0
広報委員会		695,412		695,412
典礼委員会		99,010		99,010
青少年委員会		527,583		527,583
人権委員会		461,573		461,573
諸宗教委員会		13,000		13,000
エキュメニズム委員会		13,603		13,603
女性の会		252,123		252,123
教区支援事業		329,677		329,677
外国人宣教師司牧委員会		157,074		157,074
宣教活動費		939,933		939,933
助成金支出		179,961,810		179,961,810
小教区助成金 (注1)		175,961,810		175,961,810
修道会助成金		4,000,000		4,000,000
援助事業費		3,360,520		3,360,520
人件費教区事務局		41,955,381		41,955,381
本俸・諸手当		37,699,900		37,699,900
法定福利費		4,155,248		4,155,248
雑給与		100,233		100,233
福利厚生費		395,533		395,533
維持管理費		3,502,645		3,502,645
保守管理費		1,271,848		1,271,848
水道光熱費		1,654,240		1,654,240
什器備品費		5,000		5,000
営繕費		79,380		79,380
園芸費		48,867		48,867
損害保険料		443,310		443,310
事務管理費		11,920,300		11,920,300
事務印刷費		614,969		614,969
消耗品費		204,121		204,121
電話FAX料		149,307		149,307
通信費		527,484		527,484
支払手数料		730,073		730,073
旅費交通費		928,387		928,387
公租公課		808,455		808,455
会議費		608,401		608,401
接待交際費		607,676		607,676
報酬手数料		5,614,608		5,614,608
諸会費		8,000		8,000
自動車諸費		823,126		823,126
修繕費		175,693		175,693
賃借料		20,000		20,000
慶弔費		100,000		100,000
養成費		3,836,469		3,836,469
教育費		918,944		918,944
運営分担金		2,667,825		2,667,825
会議費		10,410		10,410
旅費交通費		209,290		209,290
養成援助費		30,000		30,000
宣教師牧費			45,976,244	45,976,244
特定献金支出			13,129,126	13,129,126
世界こども助け合いの日献金			364,644	364,644
聖地献金			284,646	284,646
愛の献金			1,105,066	1,105,066
広報の日献金			207,280	207,280
聖ペトロ使徒座献金			265,378	265,378
世界難民移住移動者献金			283,396	283,396
世界宣教の日献金			233,817	233,817
宣教地召命促進の日献金			252,755	252,755
一粒会献金			3,337,878	3,337,878
教区献金			6,794,266	6,794,266
納付金支出			32,689,542	32,689,542
教区納付金支出			29,261,230	29,261,230
修道会等納付金支出			3,428,312	3,428,312
人件費支出			4,826,400	4,826,400
運営管理費			72,142,033	72,142,033
補助活動支出			1,635,038	1,635,038
墓地・納骨堂管理支出			40,341	40,341
雑損失			108	108
経常支出計		249,314,441	170,438,832	419,753,273
財務支出の部				
固定資産支出		2,464,308	45,448,510	47,912,818
建物付属設備購入支出		753,840	9,123,850	9,877,690
構築物購入支出			165,888	165,888
祭儀備品購入支出			982,960	982,960
器具備品購入支出		370,440	2,533,919	2,904,359
車両購入支出		1,340,028		1,340,028
特別目的預金積立支出			32,641,893	32,641,893
固定負債支出			100,000	100,000
長期借入金返済支出			100,000	100,000
その他の財務支出		291,360,198	15,487,975	306,848,173
立替金支出		7,452,298	1,418,005	8,870,303
仮払金支出		200,700,016	7,664,675	208,364,691
未払金支出		3,138,400	327,651	3,466,051
仮受金返還支出		74,002,351	3,658,102	77,660,453
預り金支出		6,067,133	2,419,542	8,486,675
内部取引勘定支出		124,612,204		124,612,204
基金勘定支出		85,279,514		85,279,514
教区事務勘定支出		14,555,478		14,555,478
一粒会勘定支出		23,016,032		23,016,032
墓地納骨堂勘定支出		66,241		66,241
霊性センター勘定支出		1,694,939		1,694,939
資金調整勘定		△2,447,805	△901,810	△3,349,615
期末未払金		△2,447,805	△901,810	△3,349,615
財務支出計		415,988,905	60,134,675	476,123,580
支出計		665,303,346	230,573,507	895,876,853
次期繰越金		577,482,756	104,423,684	681,906,440
支出合計		1,242,786,102	334,997,191	1,577,783,293

収入の部	科目	教区本部合計	小教区合計	総合計
経常収入の部				
納付金収入		33,001,230		33,001,230
教区納付金(A)		12,355,171		12,355,171
教区納付金(B)		16,516,059		16,516,059
教区納付金(C)		4,130,000		4,130,000
分担金収入		1,950,000		1,950,000
小教区分担金収入		1,500,000		1,500,000
その他分担金収入		450,000		450,000
特定献金収入		15,945,435		15,945,435
世界こども助け合いの日献金		1,356,731		1,356,731
聖地献金		294,646		294,646
愛の献金		1,105,066		1,105,066
広報の日献金		242,280		242,280
聖ペトロ使徒座献金		310,378		310,378
世界難民移住移動者献金		328,396		328,396
世界宣教の日献金		263,817		263,817
宣教地召命促進の日献金		287,755		287,755
教区献金 (注2)		11,756,366		11,756,366
一粒会献金収入		5,257,878		5,257,878
信徒通常献金収入			68,304,750	68,304,750
教会維持献金			49,391,069	49,391,069
ミサ聖祭献金			15,749,376	15,749,376
大祝日献金			3,164,305	3,164,305
特定献金収入			13,129,126	13,129,126
世界こども助け合いの日献金			364,644	364,644
聖地献金			284,646	284,646
愛の献金			1,105,066	1,105,066
広報の日献金			207,280	207,280
聖ペトロ使徒座献金			265,378	265,378
世界難民移住移動者献金			283,396	283,396
世界宣教の日献金			233,817	233,817
宣教地召命促進の日献金			252,755	252,755
一粒会献金			3,337,878	3,337,878
教区献金			6,794,266	6,794,266
特別献金収入		21,923,297	68,069,460	89,992,757
祭式献金		5,230,310	12,883,583	18,113,893
特別献金		3,224,896		3,224,896
一般特別献金		7,690,421	24,706,690	32,397,111
一般献金		5,777,670		5,777,670
営繕献金			4,450,200	4,450,200
建設献金			25,478,987	25,478,987
共同司牧収入			550,000	550,000
助成金収入			28,043,250	28,043,250
教区助成金収入			28,043,250	28,043,250
墓地・納骨堂収入		5,141,000	1,198,500	6,339,500
非課税永代使用料収入		160,000	100,000	260,000
課税永代使用料収入		2,700,000	960,000	3,660,000
管理料収入		2,281,000	114,000	2,395,000
その他納骨堂等収入			24,500	24,500
補助活動収入			2,771,246	2,771,246
行事収入			448,886	448,886
課税事業収入			1,362,947	1,362,947
非課税事業収入			959,413	959,413
雑収入		407,936	495,997	903,933
課税雑収入		59,636		59,636
非課税雑収入		348,300	495,997	844,297
事業収入		2,407,500	7,359,929	9,767,429
受取利息配当金		895,500	120,429	1,015,929
施設利用料収入		1,512,000	458,500	1,970,500
駐車場収入			6,781,000	6,781,000
経常収入計		86,034,276	189,372,258	275,406,534
財務収入の部				
固定資産収入		83,784,514	30,467,074	114,251,588
基本土地売却収入		6,704,800		6,704,800
基本建物売却収入		10,295,200		10,295,200
投資有価証券売却収入		50,000,000		50,000,000
長期貸付金回収収入		100,000		100,000
特別目的預金取崩収入		16,684,514	30,467,074	47,151,588
その他の財務収入		288,506,707	17,361,534	305,868,241
未収入金収入		186,152		186,152
立替金回収収入		7,445,198	1,418,005	8,863,203
仮払金回収収入		200,700,016	10,310,164	211,010,180
預り金収入		6,454,946	2,375,263	8,830,209
仮受金収入		73,720,395	3,258,102	76,978,497
内部取引勘定収入		124,612,204		124,612,204
基金勘定収入		13,708,966		13,708,966
教区事務勘定収入		107,566,726		107,566,726
一粒会勘定収入		3,075,332		3,075,332
墓地納骨堂勘定収入		66,241		66,241
霊性センター勘定収入		194,939		194,939
資金調整勘定		△857,248		△857,248
期末未収入金		△857,248		△857,248
財務収入計		496,046,177	47,828,608	543,874,785
収入計		582,080,453	237,200,866	819,281,319
前期繰越金		660,705,649	97,796,325	758,501,974
収入合計		1,242,786,102	334,997,191	1,577,783,293

(注1) この中に今治教会建築関連費用等が含まれています。

(注2) 2017年度の教区献金は皆様の寛大なご協力で11,756,366円の献金を頂きました。ここに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。  
 なお、人件費に限っての収支をみますと、大阪管区から年間500万円の職員給与と援助金をいただいております。それを含めると実質950万円相当の赤字になっています。  
 本年度も引き続き教区献金へのご協力をよろしくお願いいたします。

教区スケジュール

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from 9月2日 to 10月28日 with various religious events and services.

信仰の喜び

「久しぶりにイバカン」

「数えて6回目になりまして、それぞれのキャンプは毎年、特色をもって、いい積み重ねをしてきていますし、『いばらの冠』の名も次第に知られてきています。ともかく自分の目で確かめ、自分の体で感じるキャンプを今年も目指しましょう。」

「いばらの冠」は1971年から同92年まで20年間活動してきました。

久しぶりの「いばらの冠」

今年12月池田教会で開催



「無関心や偏見から差別されていく人びとの所へ行つてみる。許可がおりれば迷惑を承知の上で、今必要としてい

「いばらの冠」は1971年から同92年まで20年間活動してきました。右記はまた若かりし頃の四国における青年活動「いばらの冠」の第6回編集会開催を告げた文章です。

中野裕明神父



教皇フランシスコは、鹿児島教区のパウロ郡山健次郎司教の引退願いを受理し、同教区司教、日本カトリック神学院院長のフランシスコ・サビエル中野裕明神父を新司教として任命しました。

被災地の復興はまだの現状を実感

坂出教会の3人参加



「いばらの冠」に関わった人もそうでない人も、今年12月2日に、高松教区のど真ん中の池田教会のミサに参加して信仰の喜びを新たにするために小さな冒険をしてみませんか。

青年たち歌や踊りで交流

坂出教会でベトナムデー



熱心で仲が良いベトナムの青年たち

ベトナム・デーが8月5日、坂出カトリック教会で開催された。新居浜、岡山、広島、福岡、高松、坂出等各地から約100人のベトナムの若人が集った。

「感謝の気持ちを含めて」とし、地元信徒と共に交流した。猛暑が続く中でも暑さには故郷の情景を思い出し、元氣一杯！どこにいても神様がいつも一緒にいて下さり、守って下さるとの想いを歌や踊りで表現し、感謝のうちに交流会を盛り上げた。

TSCから西日本豪雨災害支援と募金の報告 7月初旬に起こった西日本豪雨により愛媛地区・宇和島等での被災者支援のため募金は8月17日現在154万6千300円となっています。このうち被災者生活支援のため80万円を支出いたしました。御協力をいただいた方々に心より感謝申し上げます。

て散骨したため、今は高台の教会前方に建てられて、お骨がない方の名前を入れて、祈りの場所になっていました。南三陸ではベース長の千葉さんにバトンタッチされて案内して頂き、陸前高田の被災地の膨大な嵩上げ工事を見るにつけ、あと何年かかるのか気が遠くなる思いがしました。翌日にはギリスタン殉教地の三塚に登り、殉教者の話を聞き、祈りを捧げました。



漁業支援で昆布を結ぶ参加者たち

皆様とうか 東日本大震災を忘れないで心をほせて下さい。今回のツアーでは大船渡ベース、南三陸ベースのスタッフの方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。

新刊書籍紹介

証言者たち

厳律シトー会アトラス修道院の七人の殉教者 映画『神々と男たち』のモデルとなった7人の修道者は、1996年テロリストたちによって連れ去られ殺された。なぜ彼らは命の危険を顧みず、最後まで人びとの中にとどまる道を選んだのか。修道者たちの手紙や日記などからたどる。

殉教とろびを越えて

キリスト教とは何か(7) 粕谷甲一講話集第7巻。今は拷問も、迫害もないけれど、棄教に迫りやうな風潮は強く、昔と違う形で教会は迫害を受けているのです。この現代の「迫害」にどのように対処したらいいのか。現代の迫害とは、殉教者とは何かを考える。

殉教者とは超人間的な英雄ではない。強い人間が殉教して、弱い人間がころぶというのではなく、自分の弱さを知って、まったく自分をあてにせず、神の力に委ねる人です。(本文より)

著者：粕谷甲一 判型：新書判 並製 ページ数：224ページ 発行：女子パウロ会 価格：1,296円(税込)



～編集部からひとこと～

1993年、テロリストたちが最初に修道院を訪れたときから連れ去られる日まで、修道者たちは祈り、ゆるし、真の平和とは何かを問いかけ、そして、共にいることを選びます。本書は修道者たちの驚くべき信仰告白です。ベルナルド・オリベラ 著 木鎌安雄 訳 新書判並製 240頁 本体1,000円+税

Advertisement for 'How Far to Fellow?' featuring a group of people and the text '神を観想し、その実りを人々に伝えよ'.

Advertisement for '暁の星学園' (Akatsuki no Hoshi Gakuen) featuring a child and the text '私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう'.

編集後記 「災害は忘れた頃にやってくる」と、よく言われます。今回は遠く東北ではなく近く高松教区内南予地区が大きな被害を被り信徒数多く被災されています。これに伴い間髪を置かず、教区内外から温かい支援の手が差し伸べられています。